

原発事故 自公にも責任



「原発なくせ、再稼働反対」と声を上げる人たち。30日、首相官邸前

反原連が官邸前抗議

首都圏反原発連合（反原連）は30日、首都圏第一原発事故をめぐり、対策を怠った首相官邸前抗議を行いました。この日、東京電

恒久元会長ら旧経営陣

の公判が始まりました。

川崎市から参加した60歳の女性は「福島第一原発について津波の危険を警告する声があった。しかし、国も

東電も耳を傾けず対策を怠った。事故は収束していないし、誰も責任をとっていない。これで再稼働や輸出なんてありえない。原発を一日も早くなくしたい」

国会正門前のスピーチエリアでは、東電とともに原発を推進してきた自公政権を批判する声が続ぎました。埼玉県から参加した男性は「安全よりコストを優先し、事故を防げなかった東電の責任は重大。あわせて危険の指摘を無視し、東電に対策をとらせず、原発を推進してきた自公政権の責任を追及しよう」と呼びかけました。

700人（主催者発表）が参加。日本共産党の岩渕友参院議員が国会正門前で「首相官邸前・国会正門前、全国での『原発やめろ』の声が世論を大きく動

かしています。さらに声を広げ、原発ゼロの日本を実現しましょう」と訴えました。